

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
令和8年6月29日	
宮崎県知事 殿	
提出者	
住 所	都城市中原町32街区1号
氏 名	吉原建設株式会社 都城本店
代表取締役 吉原政秀	
電 話 番 号	0986-25-7000
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	吉原建設株式会社 都城本店
事 業 場 の 所 在 地	都城市中原町32街区1号
計 画 期 間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類:D 建設業 小分類:0611 一般土木建築工事業 中分類:06 総合工事業
②事業の規模	6,311,331,218円（前年度完工高）
③従業員数	136人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	※別添Aのとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

※別添Bのとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	※別添Cのとおり	
	排出量	※別添Cのとおり	
	(これまでに実施した取組)		
	効率的な資材の発注及び使用として、下記の取組みを実施。 ・必ず数量算出のもと資材を発注する。(目測の禁止) ・可能な限り割付を行う。 ・端材等については、可能な限り再利用する。 ・過剰梱包とならないように指導する。 ・現場ごとに主要工事の品質面(精度等)に関する目標を設定し、品質(精度等)向上を図る事により、手戻り工事を無くしてムダな産業廃棄物の発生を抑制する。 ・引渡し後のクレーム削減に関する目標を設定し、顧客満足の上をを図る事により、手戻り工事を無くしてムダな産業廃棄物の発生を抑制する。(過去クレームを反映した施工検討会議の実施)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	※別添Cのとおり	
	排出量	※別添Cのとおり	
	(今後実施する予定の取組) 前年度と同じ。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、石膏ボード、木くず、紙くずの分別を実施。 (他の廃棄物が混入しないように保管)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 前年度と同じ。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	※別添Cのとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	※別添Cのとおり	
	（これまでに実施した取組） 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	※別添Cのとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	※別添Cのとおり	
	（今後実施する予定の取組） 実施予定なし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	※別添Cのとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	※別添Cのとおり	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	※別添Cのとおり	
	（これまでに実施した取組） 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	※別添Cのとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	※別添Cのとおり	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	※別添Cのとおり	
	（今後実施する予定の取組） 実施予定なし。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	※別添Cのとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	※別添Cのとおり	
	（これまでに実施した取組） 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	※別添Cのとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	※別添Cのとおり	
	（今後実施する予定の取組） 実施予定なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	※別添Cのとおり	
	全処理委託量	※別添Cのとおり	
	優良認定処理業者への処理委託量	※別添Cのとおり	
	再生利用業者への処理委託量	※別添Cのとおり	
	認定熱回収業者への処理委託量	※別添Cのとおり	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	※別添Cのとおり	
	（これまでに実施した取組） ・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施。 （許可証の確認、委託契約書の作成） ・再生利用、熱回収が可能な廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ処理を委託。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	※別添Cのとおり	
	全処理委託量	※別添Cのとおり	
	優良認定処理業者への 処理委託量	※別添Cのとおり	
	再生利用業者への 処理委託量	※別添Cのとおり	
	認定熱回収業者への 処理委託量	※別添Cのとおり	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	※別添Cのとおり	
	(今後実施する予定の取組)		
	前年度と同じ。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理工程

1. 汚泥

- ・ 処理業者へ委託

2. 廃プラスチック類

- ・ 処理業者へ委託

3. 金属くず

- ・ 処理業者へ委託

4. ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず

- ・ 処理業者へ委託
- ・ 再生処理業者へ委託 → 石膏ボード原料として再資源化

5. がれき類

- ・ 自社再生施設 → 再生砕石（骨材）として再資源化
- ・ 再生処理業者へ委託 → 再生砕石（骨材）として再資源化
- ・ 処理業者へ委託

6. 紙くず

- ・ 再生処理業者へ委託 → 固形燃料や再生紙として再資源化
- ・ 処理業者へ委託

7. 木くず

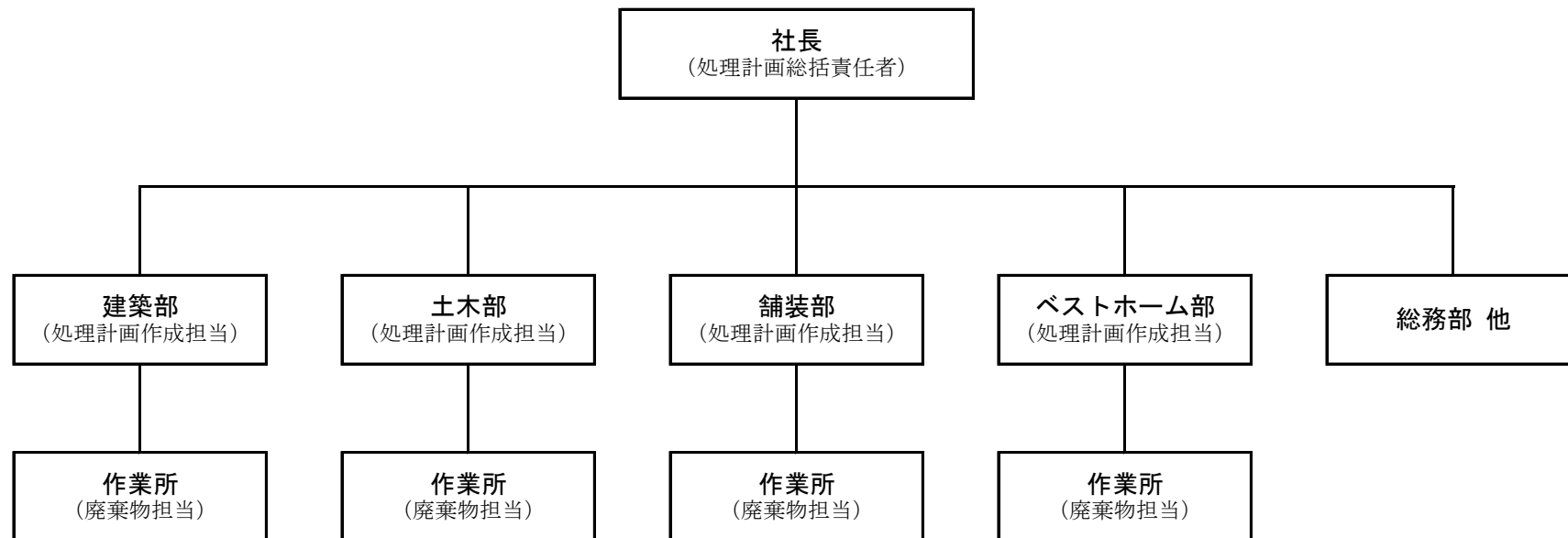
- ・ 再生処理業者へ委託 → 燃料用（合材用）チップとして再資源化
- ・ 処理業者へ委託

8. 建設混合廃棄物

- ・ 処理業者へ委託

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

◎ 管理体制図



別添C

産業廃棄物処理計画書・実施状況報告書（明細）

・

現状

： 前年度（令和7年度）の実績

・

計画

： 令和8年度の目標

※ 数値は小数点第2位切り上げ

【単位:トン】

廃棄物の種類		①	②+⑧	⑤	⑦	③+⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
		排出量	自ら再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	熱回収認定業者への処理委託量	⑬以外の熱回収を行う業者への処理委託量
汚泥	現状	1289.6	0	0	0	0	1289.6	0	0	0	0
	計画	1200.0	0	0	0	0	1200.0	0	0	0	0
廃プラスチック類	現状	109.0	0	0	0	0	109.0	0	0	0	0
	計画	100.0	0	0	0	0	100.0	0	0	0	0
金属くず	現状	72.2	0	0	0	0	72.2	0	0	0	0
	計画	70.0	0	0	0	0	70.0	0	0	0	0
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	現状	2524.5	0	0	0	0	2524.5	0	0	0	0
	計画	2500.0	0	0	0	0	2500.0	0	0	0	0
がれき類	現状	4144.1	989.8	0	0	0	3154.3	0	1902.2	0	0
	計画	4000.0	980.0	0	0	0	3000.0	0	1800.0	0	0
紙くず	現状	0.6	0	0	0	0	0.6	0	0	0	0
	計画	0.5	0	0	0	0	0.5	0	0	0	0
木くず	現状	285.0	0	0	0	0	283.5	0	1.5	0	0
	計画	250.0	0	0	0	0	250.0	0	1.0	0	0
建設混合廃棄物	現状	0.4	0	0	0	0	0.4	0	0	0	0
	計画	0.1	0	0	0	0	0.1	0	0	0	0
繊維くず	現状	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0
	計画	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	現状	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	現状	8427.1	989.8	0	0	0	7435.8	0	1903.7	0	0
	計画	8121.6	980.0	0	0	0	7121.6	0	1801.0	0	0

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)処理計画書 集計表

(別紙)

単位:t

産業廃棄物の種類		汚泥	廃プラスチック類	金属くず	ガラスくず、 コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	紙くず	木くず	建設混合 廃棄物	繊維くず		合計
廃棄物の排出の抑制に関する事項												
①現状(7年度実績)	排出量	1,289.61	108.969	72.238	2,524.510	4,144.098	0.60	285.00	0.42	1.69		8,427.126
②計画(8年度目標)	排出量	1,200.0	100.0	70.0	2,500.0	4,000.0	0.5	250.0	0.1	1.00		8,121.6
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項												
①現状(7年度実績)	自ら再生利用を行った量	0	0	0	0	989.800	0	0	0			989.800
②計画(8年度目標)	自ら再生利用を行う量	0	0	0	0	980.0	0	0	0			980.0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項												
①現状(7年度実績)	自ら熱回収を行った量	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	自ら中間処理により減量した量	0	0	0	0	0	0	0	0			0
②計画(8年度目標)	自ら熱回収を行う量	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	自ら中間処理により減量する量	0	0	0	0	0	0	0	0			0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項												
①現状(7年度実績)	自ら埋立処分を行った量	0	0	0	0	0	0	0	0			0
②計画(8年度目標)	自ら埋立処分を行う量	0	0	0	0	0	0	0	0			0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項												
①現状(7年度実績)	全処理委託量	1,289.61	108.969	72.238	2,524.510	3,154.296	0.60	285.00	0.42	1.69		7,437.324
	内訳 優良認定処理業者へ処理を委託した量	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	再生処理業者へ処理を委託した量	0	0	0	0	1,902.193	0	1,500	0			1,903.693
	認定熱回収業者へ処理を委託した量	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量	0	0	0	0	0	0	0	0			0
②計画(8年度目標)	全処理委託量	1,200.0	100.0	70.0	2,500.0	3,000.0	0.5	1.0	0.1	1.00		6,872.6
	内訳 優良認定処理業者へ処理を委託する量	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	再生利用業者へ処理を委託する量	0	0	0	0	1,800.0	0	1.0	0			1,801.0
	認定熱回収業者へ処理を委託する量	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	認定以外の熱回収業者へ処理を委託する量	0	0	0	0	0	0	0	0			0